

# 決算特別委員会 — 市長質疑での質疑と答弁 —

9月9日に設置された決算特別委員会は、三つの分科会に分かれて審査を行いました。  
9月22日に行われた市長との質疑の中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 第1分科会

### 旧交通科学館の空きスペースの有効な活用を！

**Q1** 旧交通科学館2階の半分のスペースは未活用のまま放置されている。市内の企業が子育て支援の理念を生かした事業を展開したい意向があるようだが、一定の条件の下に任せてみてはどうか。

**A1** このスペースは、これまで子育て支援施設として活用する方向でさまざまな検討や協議を進めてきた。しかし、条件面が合致しないなどにより、現在まで未活用の状態となっており、子育て支援施設に限定した整備は困難な状況である。  
今後は、子育て支援施設に用途を限定せず、地域団体やNPO法人、民間企業を問わず、幅広く利用希望者を募集し、早急に有効な利活用を図りたい。

### ストック型社会への転換を！

**Q2** 本市は、\*ストック型社会を実現する一つの手法として、「200年住宅」や「200年街区」の取組を積極的に行うべきではないか。

**A2** ストック型社会の構築は、本市の目指す「住んでみたい、住み続けたい」と思えるようなまちの実現に必要なものである。このような観点から、環境モデル都市の提案の中に、200年住宅や環境配慮型建築物などからなる「200年街区の形成」を掲げて応募し、本年7月に国から選定された。200年住宅への取組は、民間において既に始まっており、また、街区レベルでも、民間開発をテストケースに研究が行われている。  
このような取組を踏まえつつ、環境にやさしい未来の暮らし方を提案するモデル街区の形成に向け、本年度から具体的な検討に着手する。

\*ストック型社会 良い物をつくり、きちんと手入れして、多世代にわたって長く大切に使う社会。

## 第2分科会

### 後発医薬品の使用促進を！ —生活保護の医療扶助費削減—

**Q1** 本市の生活保護受給者一人当たりの医療扶助費は、指定都市の中でも突出している。国の通知では、地方公共団体が指定医療機関等に対して、後発医薬品の使用を促すこととされており、本市も医療扶助費の削減のため、医師会等に対して協力を要請する考えはないか。

**A1** 国の通知を受け、後発医薬品の使用が促進されるよう医師会等へ協力を依頼した。一方、生活保護受給者に対しては、新たに後発医薬品の使用促進を盛り込んだ「保護のしおり」とパンフレットを全世帯に配布することとしている。  
今後も、こうした取組を続けて、後発医薬品の使用が促進され、医療扶助が適正に実施されるよう努めたい。

### 地球を守るため、みんなで協力を！

**Q2** 家庭部門の温室効果ガスが増加傾向にあるが、この削減に向け、市民への啓発活動のさらなる強化が必要ではないか。

**A2** 家庭部門の温室効果ガスの削減を図るためには、一人一人の行動が大変重要と考え、これまでに環境家計簿の市民への配布等に取り組んできた。この結果、環境活動の参加者は徐々に増加しているが、より多くの市民に活動してもらうことやライフスタイルに応じたきめ細かな情報提供等の課題がある。  
今後は、自らの行動が二酸化炭素の削減にどの程度貢献したのかが分かる「見える化」の仕組みや、環境活動の参加者が得をする仕組み等を整えて、子どもからお年寄りまで参加し、行動できるよう啓発活動の充実や強化に努めたい。

## 第3分科会

### めかり山荘のリニューアルを！

**Q1** 平成19年度の指定管理者の評価結果では、めかり山荘はCランクとなっている。接客や料理等は素晴らしいが、建物が老朽化しているため評価がAランクやBランクに上がらない。めかり山荘をリニューアルしてはどうか。

**A1** めかり山荘は、民間を活用したリニューアルの可能性を検討しているが、国立公園内にあるため、自然公園法に基づく規制では、現在の施設の規模以上の建築ができないほか、各種法の規制による建築規模の制限など多くの課題がある。そのため、施設の改善については、障害者用トイレの手すりの設置や室内備品の更新など利用者へのおもてなしにつながる改善を図りたい。

### 貨物の取扱量は増えるの？

#### —ひびきコンテナターミナルの今後—

**Q2** ひびきコンテナターミナルの周辺に新たに立地する企業によって、どのくらいの「\*創貨」が見込めるのか。

**A2** これまでに、ブリヂストン、エコマテリアル、日本ロパロ、デンソー等の企業の進出や増設が相次いでおり、今後、これらの企業から、数万\*TEU規模の新規の貨物が発生するものと期待している。  
このような「創貨」が、航路の開設や物流センター等の立地を促し、さらなる「創貨」や集貨に結びつくという好循環を作り出すことで、この港をしっかりと成長路線に乗せていきたい。

\*創貨 貨物を新たに生み出すこと。  
\*TEU 20フィートコンテナに換算したコンテナ個数の単位。

## 常任委員会の主な活動状況 (平成20年6月19日～平成20年9月30日)

委員会名	案 件	委員会名	案 件
総務財政委員会 (5回)	【議案の審査・採決】 ●北九州市市民センター条例の一部改正 ほか16件	保健病院委員会 (5回)	【議案の審査・採決】 ●指定管理者の指定(北九州市立門司病院) ほか3件
	【請願・陳情の審査】 ●旧交通科学館の市民利用に向けた整備 ほか1件		【請願・陳情の審査】 ●学童保育の充実・改善 ほか4件 ●寡婦医療制度の存続 ほか4件
	【報告】 ●新・北九州市基本構想の策定 ほか6件		【報告】 ●北九州市健康危機管理計画の策定 ほか4件
建築消防委員会 (4回)	【議案の審査・採決】 ●北九州市都市景観条例 ほか1件	教育水道委員会 (3回)	【請願・陳情の審査】 ●教育条件の充実・改善 ほか2件
	【請願・陳情の審査】 ●JR九州工大前駅及び周辺のバリアフリー化の促進 ほか11件		【報告】 ●北九州市食育推進会議(中学校完全給食) ●「これからの図書館のあり方」中間とりまとめ ほか2件
	【報告】 ●折尾まちづくりビジョン ほか11件		
環境建設委員会 (4回)	【議案の審査・採決】 ●北九州市屋外広告物条例の一部改正 ほか3件	経済港湾委員会 (3回)	【議案の審査・採決】 ●不当利得金返還請求事件に関する和解 ほか1件
	【報告】 ●環境モデル都市 ほか5件 ●平成19年度 北九州市の環境の現況等 ●ハートフル公園のモデル校区選定		【報告】 ●中心市街地活性化基本計画の認定 ●北九州港長期構想の検討

\*案件は、主なものだけ掲載しています。また、特別委員会の活動状況は、次回掲載します。

## 北九州ドリームサミット2008本会議を開催



10月4日、市議会議場において、「北九州ドリームサミット2008本会議」が開催されました。

「北九州ドリームサミット2008本会議」は、市内各中学校の代表者が「北九州市自治基本条例」策定へ参画するために、意見集約を行い、提言することを目的に、北九州青年会議所が企画したもので、市議会議場での開催は今回が初めてとなります。

## 可決した意見書・決議

- 市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善等を求める等のため、意見書を国等へ提出することや決議をすることができます。  
今定例会では、14件の意見書・決議が提出され、うち9件を可決しました。  
その件名をご紹介します。
- 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書
  - 汚染米問題の真相解明と再発防止を求める意見書
  - 雇用促進住宅の退去困難者への支援強化に関する意見書
  - 太陽光発電システムの更なる普及促進を求める意見書
  - 道路特定財源の一般財源化に関する意見書
  - ヒトT細胞白血病ウイルス1型関連疾患の予防等に関する意見書
  - 後期高齢者医療制度の廃止を含めたより抜本的な見直しを求める意見書
  - 真に消費者の立場に立つ消費者行政の確立を求める意見書
  - 「ワーク・ライフ・バランスのまちづくり」推進に関する決議

## 請願・陳情の審議結果

- 陳情「JR九州工大前駅及び周辺のバリアフリー化の促進について」 《採択》
  - 陳情「一校保育所の岩ヶ鼻北公園への移転等について」のうち第1項及び第2項 《不採択》
  - 陳情「市立三六保育所の民間移譲の凍結等について」のうち第2項 《不採択》
- このほか、請願35件、陳情112件が継続審査になりました。

- お知らせ**
- ・市議会では、視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。ご希望の方は、市議会事務局調査課(☎582-2632)までご連絡ください。
  - ・聴覚に障害のある方が、本会議の傍聴を希望される場合は、要約筆記者及び手話通訳者の派遣先を紹介しています。
  - ・次の定例会は、12月開催予定です。